

日本から出国される外国人のみなさまへ

日本での滞在期間中に国民年金、厚生年金保険及び共済組合等に参加していた期間については、被保険者資格を喪失して日本を出国した場合、以下の①～④すべての条件に該当するときに脱退一時金を請求することができます。ただし、日本に住所を有しなくなった日から2年以内に請求する必要があります。

- ① 日本国籍を有していない
- ② 国民年金の保険料納付済期間等[※]の月数又は厚生年金保険(共済組合等に参加していた期間を含む)が6月以上ある

※国民年金の保険料納付済期間等

国民年金の第1号被保険者としての保険料納付済期間の月数、保険料4分の1免除期間の月数の4分の3に相当する月数、保険料半額免除期間の月数の2分の1に相当する月数、及び保険料4分の3免除期間の月数の4分の1に相当する月数を合算した月数のことをいいます。

- ③ 日本に住所を有していない
※市区町村に転出届を提出したうえで、再入国許可・みなし再入国許可を受けて出国する方は請求することができますが、転出届の提出がない場合、再入国許可の有効期間が経過するまでは国民年金の被保険者とされることから、脱退一時金は請求できませんのでご注意ください。
- ④ 年金(障害手当金を含む)を受ける権利を有したことがない

【提出書類】

「脱退一時金請求書(国民年金／厚生年金保険)」

【添付書類】

- ① パスポート(旅券)の写し(氏名、生年月日、国籍、署名、在留資格が確認できるページ)
- ② 日本国内に住所を有しなくなったことが確認できる書類(住民票の除票の写し等(※))
- ③ 「銀行名」「支店名」「支店の所在地」「口座番号」及び「請求者本人の口座名義」であることが確認できる書類(銀行が発行した証明書等。または、「銀行の証明」欄に銀行の証明を受けてください。)
- ④ 基礎年金番号通知書または年金手帳等の基礎年金番号を明らかにすることができる書類

※ 出国前にお住まいの市区町村で転出届を提出した場合には、住民票の消除情報から、日本国内に住所を有しないことを確認できますので、添付書類②は不要です。

【提出時の注意事項】

出国前に日本国内から請求書を提出する場合には、住民票の転出(予定)日以降に請求書を日本年金機構へ提出してください。(脱退一時金の受給要件として、日本年金機構が請求書を受理した日に、日本に住所を有していないことが必要です。)

郵送の場合には、転出(予定)日以降に請求書が日本年金機構に到達するよう送付してください。

次ページに、脱退一時金を受け取った場合の《注意事項》を記載しています。

ご確認いただき、将来、年金を受け取る可能性を考慮したうえで、脱退一時金の請求についてご検討ください。

Japan Pension Service



<https://www.nenkin.go.jp/>

《脱退一時金を請求する際の注意事項》

以下の注意事項をご確認いただき、将来、年金を受け取る可能性を考慮したうえで、ご請求ください。

① 老齢年金の受給資格期間（120月（10年）あれば日本の老齢年金を受給できます。2017年8月より、25年から10年に短縮されています。）

請求時において、年金の受け取りに必要な「受給資格期間」が120月（10年）以上ある場合、将来、日本の老齢年金を受け取ることができるため、脱退一時金を請求することはできません。「受給資格期間」が120月（10年）未満の場合、脱退一時金を請求することができますが、**脱退一時金を受け取った方は、いかなる場合でも、脱退一時金を請求する以前の日本の年金に加入していた期間がすべてなくなります。**

「受給資格期間」とは？

- ・国民年金の保険料を納めた期間や免除された期間 ・厚生年金保険や共済組合等の加入期間
- ・日本の年金制度に加入していなくても受給資格期間に加えることができる期間（合算対象期間）

※合算対象期間とは、過去に日本の年金制度に加入していなかった場合などでも、資格期間に含むことができる期間です。（ただし、年金額の算定には反映されません。）

例えば、

- ・日本で永住許可を得た外国籍の方については、海外在留期間のうち、1961年4月から永住許可を取得するまでの期間（20歳以上 60歳未満の期間に限る。）
- ・日本と年金通算の協定を締結している相手国の年金制度に加入していた期間（詳細は「②加入期間の通算」）が合算対象期間となります。その他、詳細については、年金事務所へお問い合わせください。

② 加入期間の通算

日本と年金通算の協定を締結している相手国の年金制度に加入していた期間がある方は、一定の要件のもと、加入期間を通算して日本及び協定相手国の年金を受け取ることができる場合があります。加入期間を通算した結果、日本の年金の受け取りに必要な受給資格期間が120月以上ある場合、脱退一時金を請求することはできません。受給資格期間が120月未満の場合、脱退一時金を請求することができますが、**脱退一時金を受け取った場合、脱退一時金を請求する以前の日本の年金に加入していた期間がすべてなくなるため、その期間を通算することができなくなります。**

【日本と年金通算の社会保障協定を締結している相手国（2024年3月現在）】

ドイツ、アメリカ、ベルギー、フランス、カナダ、オーストラリア、オランダ、チェコ、スペイン、アイルランド、ブラジル、スイス、ハンガリー、インド、ルクセンブルク、フィリピン、スロバキア、フィンランド、スウェーデン

なお、最新の社会保障協定締結状況については、日本年金機構ホームページをご確認ください。

(<https://www.nenkin.go.jp/service/shaho-kyotei/20141125.html>)

③ 支給額計算の上限（2021年4月より36月（3年）から60月（5年）に引き上げられました。）

脱退一時金の支給額は、日本の年金制度に加入していた月数に応じて、**60月**を上限として計算されます。ただし、脱退一時金の支給対象とする国民年金保険料納付済期間等又は厚生年金保険及び共済組合等の合計加入期間が**2021年3月以前のみ**の期間となる場合は、**36月**を上限として計算されます。

※日本の年金制度に**61月以上**加入されていた方が脱退一時金を請求した場合、支給金額は**60月**を上限として計算されますが、**脱退一時金を請求する以前の日本の年金に加入していた期間が全てなくなります。**（例えば、90月分の日本の年金に加入していた期間がある方が脱退一時金を請求した場合、脱退一時金は上限60月分が支給されますが、90月分すべての日本の年金に加入していた期間がなくなります。）

※複数回の在留を繰り返し、日本の年金制度に加入する期間が通算で**61月以上**になる予定の方で、加入期間に応じた脱退一時金の受給を希望される場合には、各在留期間終了後の帰国の都度、請求が必要になる場合があります。（例えば、3年間（36月）で第1号・2号技能実習を終了し帰国した後、特定技能1号（在留期間の上限5年）として日本に入国する方は、第2号技能実習終了後及び特定技能1号による在留期間終了後に請求することで、各加入期間に応じた支給を受けることができます。）

【脱退一時金にかかる所得税】

○非居住者の方が支給を受ける厚生年金保険の脱退一時金は、その支給の際に、20.42%の税金が源泉徴収されます。ただし、「退職所得の選択課税による還付のための申告書」を税務署に提出することで、源泉徴収された税金の還付を受けられる場合があります。（国民年金の脱退一時金は、源泉徴収されません。）

○申告書の提出先は、日本国内における最終の住所地又は居所地を管轄する税務署です。申告及び還付金の受け取りのためには、帰国前に、日本国内における最終の住所地又は居所地を管轄する税務署へ「所得税・消費税の納税管理人の届出書」を提出する必要があります。**（納税管理人の資格は、日本に住所地又は居所地を有すること以外に特にありません。）**

「所得税・消費税の納税管理人の届出書」を提出しないで帰国した場合には、申告時に申告書と併せて提出してください。

○申告書や届出書の様式は、国税庁ホームページ(<https://www.nta.go.jp>)に掲載しています。申告などの手続きについてご不明な点は、税務署にお尋ねください。

○脱退一時金の送金と同時に「脱退一時金支給決定通知書」を送付しますので、原本を所得税・消費税の納税管理人に送付してください。

【請求者が脱退一時金の支給を受けずに死亡した場合】

請求者の死亡当時、生計を同一にしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹、その他3親等内の親族が代わりに給付を受けることができます。ただし、本人が死亡前に請求書を提出している場合のみ該当します。

国民年金被保険者の脱退一時金の支給

- ・ 日本国籍を有しない方が、最後に国民年金の被保険者の資格を喪失したとき(日本国内に住所を有しなくなった日)から2年以内に脱退一時金を請求することができます。
- ・ 保険料納付済期間等の月数(※)が合計して6月以上あって、年金を受ける権利を有したことがない方が対象になります。

※保険料納付済期間等の月数とは

請求日の前日において、請求日の属する月の前月までの第1号被保険者としての被保険者期間にかかる

- ・ 保険料納付済期間の月数
 - ・ 保険料4分の1免除期間の月数の4分の3に相当する月数
 - ・ 保険料半額免除期間の月数の2分の1に相当する月数
 - ・ 保険料4分の3免除期間の月数の4分の1に相当する月数
- を合算した月数のことです。

《脱退一時金の支給額の計算》

最後に保険料を納付した月(基準月)が属する年度と保険料納付済期間等の月数に応じて、支給額を計算します。

◎2021年4月以降に基準月を有する場合の支給額

以下の式により計算します。

《計算式》

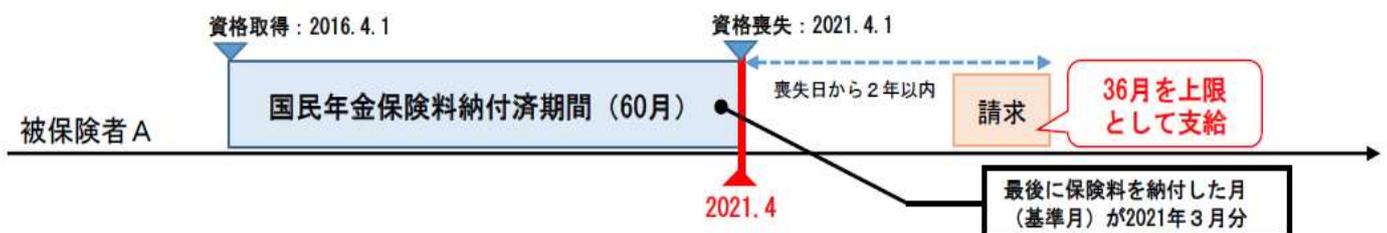
$$\text{脱退一時金支給額} = \text{最後に保険料を納付した月(基準月)が属する年度の国民年金保険料額} \times \frac{1}{2} \times \text{支給額計算に用いる数}$$

※脱退一時金の支給額計算方法に関する法令の改正が行われ、2021年4月より支給上限月数が36月(3年)から60月(5年)に引き上げられました。

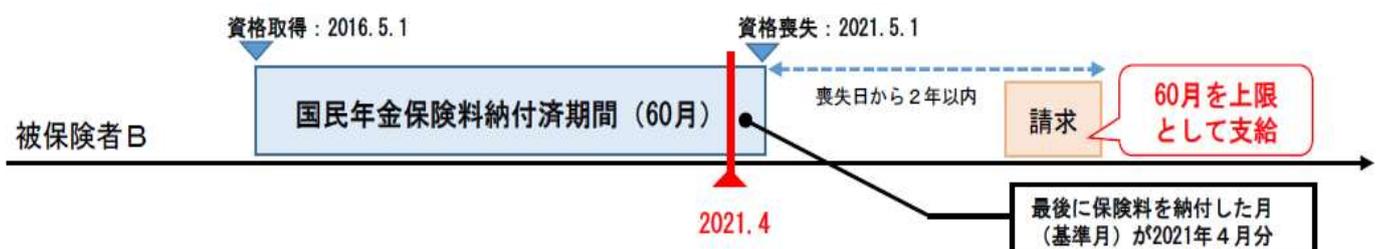
この見直しは、最後に保険料を納付した月(基準月)が2021年4月以降の方が対象となります。

最後に保険料を納付した月(基準月)が2021年3月以前の方については、これまで通り36月(3年)を上限として、支給額が計算されます。

○基準月が2021年3月以前であれば、36月(3年)を上限として支給額を決定



○基準月が2021年4月以降であれば、60月(5年)を上限として支給額を決定



国民年金被保険者の脱退一時金の支給

【2024年4月から2025年3月までの間に基準月を有する場合の支給額】

| 保険料納付済期間等 | 支給額計算に用いる数 | 支給額 |
|------------|------------|----------|
| 6月以上12月未満 | 6 | 50,940円 |
| 12月以上18月未満 | 12 | 101,880円 |
| 18月以上24月未満 | 18 | 152,820円 |
| 24月以上30月未満 | 24 | 203,760円 |
| 30月以上36月未満 | 30 | 254,700円 |
| 36月以上42月未満 | 36 | 305,640円 |
| 42月以上48月未満 | 42 | 356,580円 |
| 48月以上54月未満 | 48 | 407,520円 |
| 54月以上60月未満 | 54 | 458,460円 |
| 60月以上 | 60 | 509,400円 |

◎2024年3月以前に基準月を有する場合の支給額

基準月の属する年度の国民年金保険料額及び保険料納付済期間等の月数に応じて、支給額は下記の表のとおりとなります。

| 対象月数 | 支給額 | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|
| | 2023年4月から2024年3月までの間に保険料納付済期間を有する場合の支給額 | 2022年4月から2023年3月までの間に保険料納付済期間を有する場合の支給額 | 2021年4月から2022年3月までの間に保険料納付済期間を有する場合の支給額 | 2020年4月から2021年3月までの間に保険料納付済期間を有する場合の支給額 | 2019年4月から2020年3月までの間に保険料納付済期間を有する場合の支給額 |
| 6月以上12月未満 | 49,560円 | 49,770円 | 49,830円 | 49,620円 | 49,230円 |
| 12月以上18月未満 | 99,120円 | 99,540円 | 99,660円 | 99,240円 | 98,460円 |
| 18月以上24月未満 | 148,680円 | 149,310円 | 149,490円 | 148,860円 | 147,690円 |
| 24月以上30月未満 | 198,240円 | 199,080円 | 199,320円 | 198,480円 | 196,920円 |
| 30月以上36月未満 | 247,800円 | 248,850円 | 249,150円 | 248,100円 | 246,150円 |
| 36月以上42月未満 | 297,360円 | 298,620円 | 298,980円 | 297,720円 | 295,380円 |
| 42月以上48月未満 | 346,920円 | 348,390円 | 348,810円 | / | |
| 48月以上54月未満 | 396,480円 | 398,160円 | 398,640円 | | |
| 54月以上60月未満 | 446,040円 | 447,930円 | 448,470円 | | |
| 60月以上 | 495,600円 | 497,700円 | 498,300円 | | |

※2019年3月以前に基準月を有する場合の支給額については、日本年金機構ホームページでご確認ください。

ការផ្តល់ប្រាក់សោធនពេលចាកចេញសម្រាប់អ្នកទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍ជាតិ

- អ្នកគ្មានសញ្ញាគងប៉ុន អាចធ្វើការស្នើសុំប្រាក់សោធនពេលចាកចេញនៅក្នុងរយៈពេល២ឆ្នាំ គិតចាប់ពីពេលដែលបានបង់សិទ្ធិជាអ្នកទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍ជាតិ (ថ្ងៃដែលលែងមានអាសយដ្ឋានស្នាក់នៅក្នុងប្រទេសជប៉ុន)។
- អ្នកដែលបានបង់ថ្លៃនាវាបំរុងរយៈពេលសរុប (※) ចាប់ពី៦ខែឡើង ហើយជាអ្នកដែលពុំធ្លាប់មានសិទ្ធិទទួលបានប្រាក់សោធននិវត្តន៍។

※រយៈពេលសរុបនៃការបង់ថ្លៃនាវាបំរុងគឺ៖

នៅមុនថ្ងៃស្នើសុំ ស្ថិតក្នុងរយៈពេលជាអ្នកទទួលបាននាវាបំរុងលេខ១រហូតដល់មុន១ខែនៃខែស្នើសុំ

- ចំនួនខែដែលបានបង់ថ្លៃនាវាបំរុង
- ចំនួនខែស្មើនឹង៣ភាគ៤នៃចំនួនខែអំឡុងពេលលើកលែង១ភាគ៤នៃថ្លៃនាវាបំរុង
- ចំនួនខែដែលស្មើនឹង១ភាគ២នៃរយៈពេលលើកលែងចំនួនពាក់កណ្តាលនៃថ្លៃនាវាបំរុង
- ចំនួនខែដែលបានបូកបញ្ចូលនូវរយៈពេលដែលស្មើនឹង១ភាគ៤នៃចំនួនខែក្នុងរយៈពេលលើកលែង៣ភាគ៤នៃថ្លៃនាវាបំរុង។

«ការគណនាទឹកប្រាក់ផ្តល់ប្រាក់សោធនពេលចាកចេញ»

ធ្វើការគណនាទឹកប្រាក់ផ្តល់អាស្រ័យតាមឆ្នាំនៃខែ (ខែស្តុន ខែឧសភា) ដែលបានបង់ថ្លៃនាវាបំរុងចុងក្រោយ និងរយៈពេលបានបង់នាវាបំរុង។

◎ ចំនួនទឹកប្រាក់ផ្តល់សម្រាប់អ្នកស្ថិតក្នុងខែស្តុន ខែឧសភា ឆ្នាំ២០២១ នឹងគណនាតាមរូបមន្តខាងក្រោម៖

«រូបមន្តគណនា»

ចំនួនទឹកប្រាក់សោធនពេលចាកចេញដែលត្រូវផ្តល់

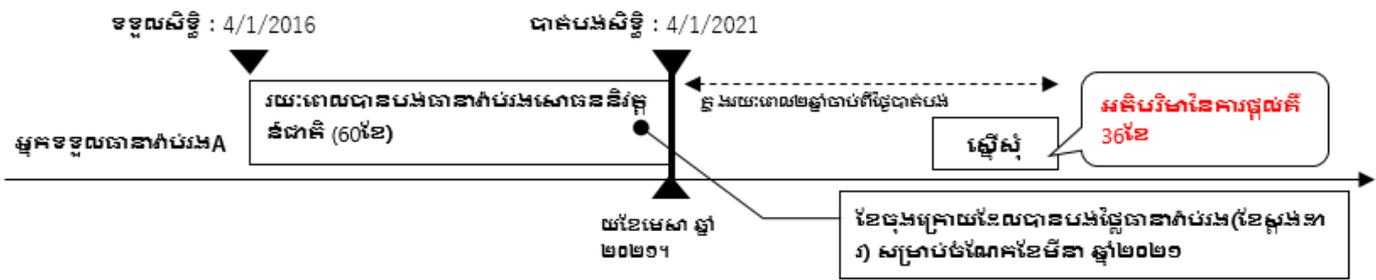
= ចំនួនថ្លៃនាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍ជាតិក្នុងឆ្នាំនៃខែ (ខែស្តុន ខែឧសភា) ដែលបានបង់ថ្លៃនាវាបំរុងចុងក្រោយ

× 1/2 × ចំនួនត្រូវគណនាទឹកប្រាក់ផ្តល់

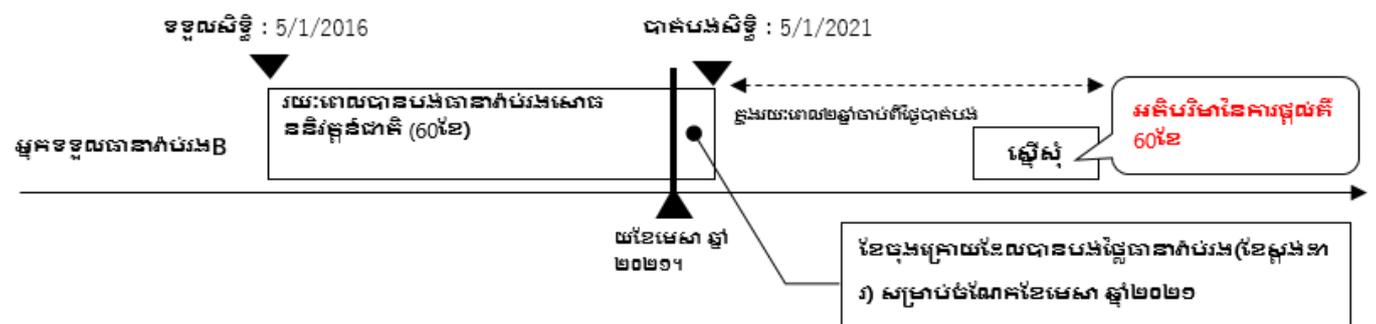
※រូបមន្តគណនាការផ្តល់ប្រាក់សោធនពេលចាកចេញត្រូវបានធ្វើកំណែទម្រង់តាមច្បាប់ ដោយចំនួនអតិបរិមាណនៃការផ្តល់នាខែមេសា ឆ្នាំ២០២១ ត្រូវបានបង្កើនពី៣៦ខែ(៣ឆ្នាំ)ដល់៦០ខែ(៥ឆ្នាំ)។

តាមរយៈការធ្វើកំណែទម្រង់នេះ ខែ (ខែស្តុន ខែឧសភា) ដែលបានបង់ថ្លៃនាវាបំរុងចុងក្រោយគឺត្រូវស្ថិតក្រោយខែមេសា ឆ្នាំ ២០២១។ ចំពោះអ្នកស្ថិតក្នុងខែ (ខែស្តុន ខែឧសភា) ដែលបានបង់ថ្លៃនាវាបំរុងចុងក្រោយដែលស្ថិតមុនខែមីនា ឆ្នាំ២០២១ នឹងអនុវត្តការគណនាជាអតិបរិមាណ៣៦ខែ(៣ឆ្នាំ)ដូចអ្វីដែលធ្លាប់មាននាពេលកន្លងមក។

○ ប្រសិនបើខែស្តុន ខែឧសភាស្ថិតនៅមុនខែមីនា ឆ្នាំ២០២១ សម្រេចថាចំនួនអតិបរិមាណនៃការផ្តល់គឺត្រឹម៣៦ខែ(៣ឆ្នាំ)



○ ប្រសិនបើខែស្តុន ខែឧសភាស្ថិតនៅមុនខែមេសា ឆ្នាំ២០២១ សម្រេចថាចំនួនអតិបរិមាណនៃការផ្តល់គឺត្រឹម៦០ខែ(៥ឆ្នាំ)



ការផ្តល់ប្រាក់សោធននិវត្តន៍ពេលចាកចេញសម្រាប់អ្នកទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍ជាតិ

[ចំនួនទឹកប្រាក់ផ្តល់ជូនក្នុងករណីមានខែគោលនៅចន្លោះពីខែមេសា ឆ្នាំ2024 ដល់ខែមីនា ឆ្នាំ2025]

| រយៈពេលបានបង់ផ្តល់នាវាបំរុង | ចំនួនខែត្រូវគណនាទឹកប្រាក់ផ្តល់ | ទឹកប្រាក់ផ្តល់ |
|----------------------------|--------------------------------|----------------|
| លើសពី6ខែតែក្រោម12ខែ | 6 | 50,940 យេន |
| លើសពី12ខែតែក្រោម18ខែ | 12 | 101,880 យេន |
| លើសពី18ខែតែក្រោម24ខែ | 18 | 152,820 យេន |
| លើសពី24ខែតែក្រោម30ខែ | 24 | 203,760 យេន |
| លើសពី30ខែតែក្រោម36ខែ | 30 | 254,700 យេន |
| លើសពី36ខែតែក្រោម42ខែ | 36 | 305,640 យេន |
| លើសពី42ខែតែក្រោម48ខែ | 42 | 356,580 យេន |
| លើសពី48ខែតែក្រោម54ខែ | 48 | 407,520 យេន |
| លើសពី54ខែតែក្រោម60ខែ | 54 | 458,460 យេន |
| លើសពី60ខែ | 60 | 509,400 យេន |

© ចំនួនទឹកប្រាក់ផ្តល់ជូនក្នុងករណីមានខែគោលនៅមុនខែមីនា ឆ្នាំ2024

ចំនួនទឹកប្រាក់ដែលផ្តល់ជូន គឺអាស្រ័យតាមចំនួនទឹកប្រាក់នាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍ក្នុងឆ្នាំនៃខែស្តង់ដារ និង រយៈពេលបានបង់នាវាបំរុង ដោយមានខ្លឹមសារដូចតារាងខាងក្រោម៖

| ខែដែលត្រូវគណនា | ទឹកប្រាក់ផ្តល់ | | | | |
|----------------------|---|---|---|---|---|
| | ចំនួនទឹកប្រាក់ផ្តល់ ជូនក្នុងករណីអំឡុង ពេលបង់ប្រាក់ បុព្វលាភរួចទៅ ចន្លោះពីខែមេសា ឆ្នាំ 2023 ដល់ខែមីនា ឆ្នាំ 2024 | ចំនួនទឹកប្រាក់ផ្តល់ ជូនក្នុងករណីអំឡុង ពេលបង់ប្រាក់ បុព្វលាភរួចទៅ ចន្លោះពីខែមេសា ឆ្នាំ 2022 ដល់ខែមីនា ឆ្នាំ 2023 | ចំនួនទឹកប្រាក់ផ្តល់ ជូនក្នុងករណីអំឡុង ពេលបង់ប្រាក់ បុព្វលាភរួចទៅ ចន្លោះពីខែមេសា ឆ្នាំ 2021 ដល់ខែមីនា ឆ្នាំ 2022 | ចំនួនទឹកប្រាក់ផ្តល់ ជូនក្នុងករណីអំឡុង ពេលបង់ប្រាក់ បុព្វលាភរួចទៅ ចន្លោះពីខែមេសា ឆ្នាំ 2020 ដល់ខែមីនា ឆ្នាំ 2021 | ចំនួនទឹកប្រាក់ផ្តល់ ជូនក្នុងករណីអំឡុង ពេលបង់ប្រាក់ បុព្វលាភរួចទៅ ចន្លោះពីខែមេសា ឆ្នាំ 2019 ដល់ខែមីនា ឆ្នាំ 2020 |
| លើសពី6ខែតែក្រោម12ខែ | 49,560 យេន | 49,770 យេន | 49,830 យេន | 49,620 យេន | 49,230 យេន |
| លើសពី12ខែតែក្រោម18ខែ | 99,120 យេន | 99,540 យេន | 99,660 យេន | 99,240 យេន | 98,460 យេន |
| លើសពី18ខែតែក្រោម24ខែ | 148,680 យេន | 149,310 យេន | 149,490 យេន | 149,490 យេន | 147,690 យេន |
| លើសពី24ខែតែក្រោម30ខែ | 198,240 យេន | 199,080 យេន | 199,320 យេន | 198,480 យេន | 196,920 យេន |
| លើសពី30ខែតែក្រោម36ខែ | 247,800 យេន | 248,850 យេន | 249,150 យេន | 248,100 យេន | 246,150 យេន |
| លើសពី36ខែតែក្រោម42ខែ | 297,360 យេន | 298,620 យេន | 298,980 យេន | 297,720 យេន | 295,380 យេន |
| លើសពី42ខែតែក្រោម48ខែ | 346,920 យេន | 348,390 យេន | 348,810 យេន | | |
| លើសពី48ខែតែក្រោម54ខែ | 396,480 យេន | 398,160 យេន | 398,640 យេន | | |
| លើសពី54ខែតែក្រោម60ខែ | 446,040 យេន | 447,930 យេន | 448,470 យេន | | |
| លើសពី60ខែ | 495,600 យេន | 497,700 យេន | 498,300 យេន | | |

* ចំពោះចំនួនទឹកប្រាក់ផ្តល់ជូនក្នុងករណីមានខែគោលនៅមុនខែមីនា ឆ្នាំ2019 សូមពិនិត្យមើលគេហទំព័រគ្នាក្នុងការប្រាក់សោធននិវត្តន៍ជប៉ុន។

厚生年金被保険者の脱退一時金の支給

- ・ 日本国籍を有しない方が、最後に国民年金の被保険者の資格を喪失したとき(日本国内に住所を有しなくなった日)から2年以内に脱退一時金を請求することができます。
- ・ 厚生年金保険料を6月以上支払い、年金(障害手当金を含む)を受ける権利を有したことがない方が対象になります。なお、この給付は課税の対象となります。⇒P2へ

《脱退一時金の支給額の計算》

厚生年金被保険者期間の最終月(資格喪失した日の属する月の前月)及び被保険者期間の月数に応じて以下のとおり計算されます。

《計算式》

脱退一時金支給額

$$= \text{被保険者であった期間の平均標準報酬額}^{**} \times \text{支給率}^{*} \left(\left(\text{保険料率}^{***} \times 1/2 \right) \times \text{被保険者期間月数に応じた数} \right)$$

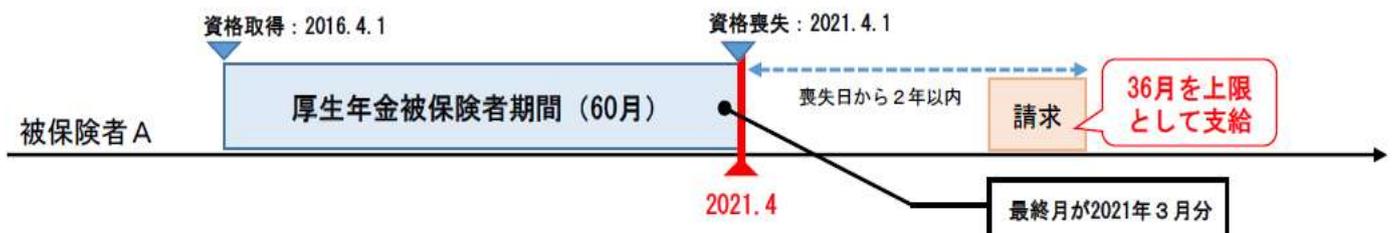
(厚生年金保険の被保険者期間に応じた支給率* は、次の表のとおりです。)

※脱退一時金の支給額の計算方法に関する法令の改正が行われ、2021年4月より支給上限月数が36月(3年)から60月(5年)に引き上げられました。

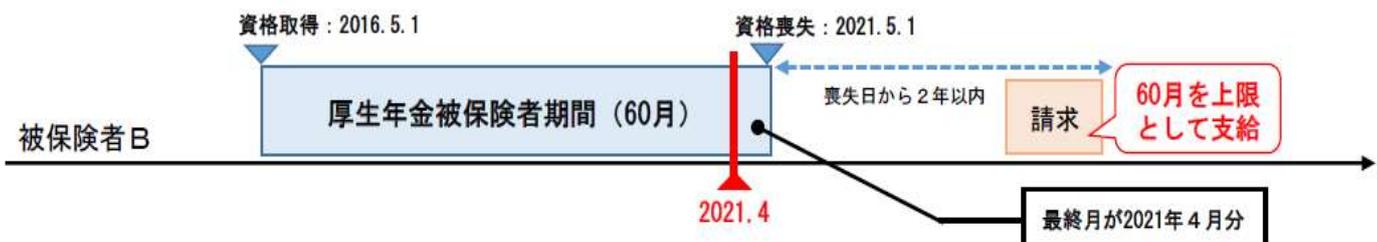
この見直しは、厚生年金被保険者期間の最終月が2021年4月以降となる方が対象となります。

厚生年金被保険者期間の最終月が2021年3月以前の方については、これまで通り36月(3年)を上限として支給額が計算されます。

○最終月が2021年3月以前であれば、36月(3年)を上限として支給額を決定



○最終月が2021年4月以降であれば、60月(5年)を上限として支給額を決定



厚生年金被保険者の脱退一時金の支給

<*支給率>

◎最終月が 2021 年 4 月以降の場合

| 厚生被保険者期間月数 | 支給率計算に用いる数 | 支給率 |
|---------------|------------|-----|
| 6 月以上 12 月未満 | 6 | 0.5 |
| 12 月以上 18 月未満 | 12 | 1.1 |
| 18 月以上 24 月未満 | 18 | 1.6 |
| 24 月以上 30 月未満 | 24 | 2.2 |
| 30 月以上 36 月未満 | 30 | 2.7 |
| 36 月以上 42 月未満 | 36 | 3.3 |
| 42 月以上 48 月未満 | 42 | 3.8 |
| 48 月以上 54 月未満 | 48 | 4.4 |
| 54 月以上 60 月未満 | 54 | 4.9 |
| 60 月以上 | 60 | 5.5 |

◎最終月が 2017 年 9 月～2021 年 3 月の場合

| 厚生被保険者期間月数 | 支給率計算に用いる数 | 支給率 |
|---------------|------------|-----|
| 6 月以上 12 月未満 | 6 | 0.5 |
| 12 月以上 18 月未満 | 12 | 1.1 |
| 18 月以上 24 月未満 | 18 | 1.6 |
| 24 月以上 30 月未満 | 24 | 2.2 |
| 30 月以上 36 月未満 | 30 | 2.7 |
| 36 月以上 | 36 | 3.3 |

<**平均標準報酬額>

- ◇ 厚生年金保険被保険者期間の全部が 2003 年 4 月以降の方

$$\text{平均標準報酬額} = \frac{\text{被保険者期間の各月の標準報酬月額と標準賞与額の合計}}{\text{全被保険者期間の月数}}$$

- ◇ 厚生年金保険被保険者期間の全部又は一部が 2003 年 3 月以前の方

$$\text{平均標準報酬額} = \frac{\text{2003 年 3 月以前の被保険者期間の各月の標準報酬月額} \times 1.3 + \text{2003 年 4 月以降の被保険者期間の各月の標準報酬月額標準賞与額の合計}}{\text{全被保険者期間の月数}}$$

<***保険料率>

最終月が 1 月～8 月の場合、前々年 10 月時点の保険料率が適用されます。
 最終月が 9 月～12 月の場合、前年 10 月時点の保険料率が適用されます。

ការផ្តល់ប្រាក់សោធនពេលចាកចេញសម្រាប់អ្នកទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍សុខុមាលភាព

- អ្នកគ្មានសញ្ញាគប្បីន អាចធ្វើការស្នើសុំប្រាក់សោធនពេលចាកចេញនៅក្នុងរយៈពេល២ឆ្នាំ គិតចាប់ពីពេលដែលបានបង់សិទ្ធិ ជាអ្នកទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍ជាតិ (ថ្ងៃដែលលែងមានអាសយដ្ឋានស្នាក់នៅក្នុងប្រទេសជប៉ុន)។
- អ្នកដែលបានបង់ថ្លៃនាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍សុខុមាលភាពចាប់ពី៦ខែឡើង ហើយជាអ្នកដែលពុំធ្លាប់មានសិទ្ធិទទួលបានប្រាក់សោធននិវត្តន៍(រួមទាំងប្រាក់ឧបត្ថម្ភពិការភាព)។ ការផ្តល់នេះគឺត្រូវជាប់ពន្ធ។ =>មើលទៅទំព័រទី២

«ការគណនាទឹកប្រាក់ផ្តល់ប្រាក់សោធនពេលចាកចេញ»

ខែចុងក្រោយនៃរយៈពេលទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍សុខុមាលភាព (មុនខែនៃខែដែលត្រូវបានបង់សិទ្ធិ) និងចំនួន ខែនៃរយៈពេលរបស់អ្នកទទួលបាននាវាបំរុងត្រូវបានគណនាដូចខាងក្រោម៖

«រូបមន្តគណនា»

ចំនួនទឹកប្រាក់សោធនពេលចាកចេញដែលត្រូវផ្តល់

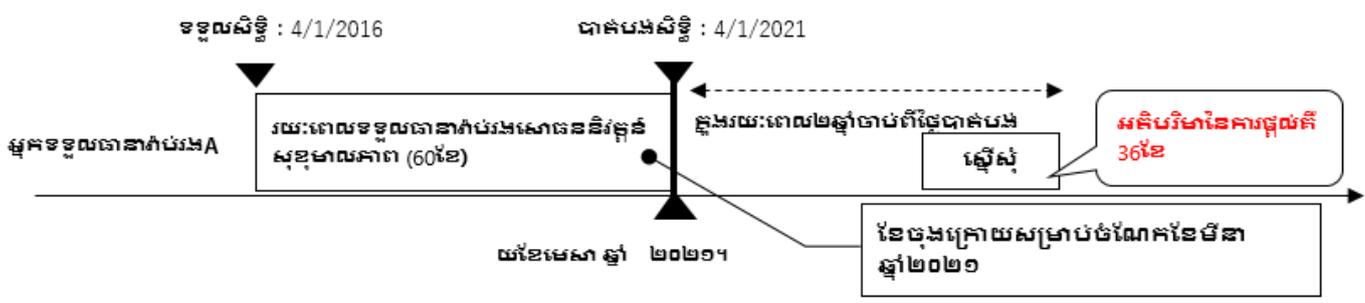
= ចំនួនប្រាក់បៀវត្សស្តង់ដារជាមធ្យមក្នុងអំឡុងពេលជាអ្នកទទួលបាននាវាបំរុង** × អត្រាផ្តល់((អត្រានាវាបំរុង** × 1/2)

× ចំនួនស្របតាមរយៈពេលទទួលបាននាវាបំរុង*(អត្រាផ្តល់ស្របទៅតាមរយៈពេលនៃអ្នកទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍សុខុមាលភាពដូចតារាងខាងក្រោម។)

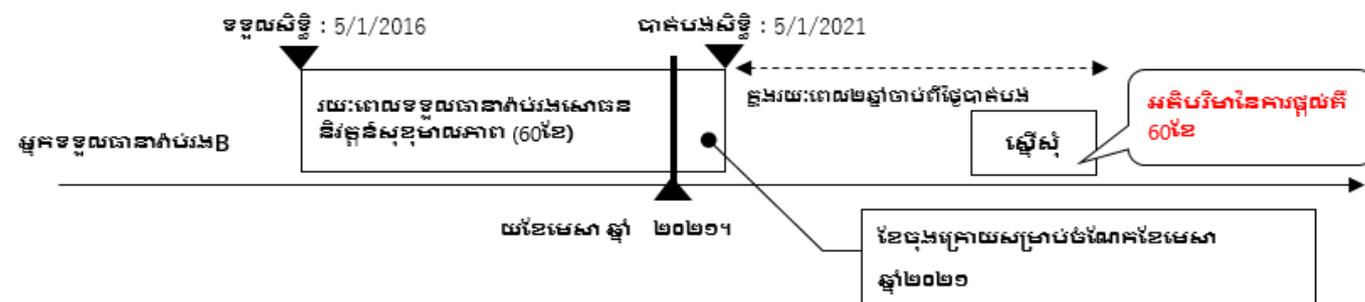
※រូបមន្តគណនាការផ្តល់ប្រាក់សោធនពេលចាកចេញត្រូវបានធ្វើកំណែទម្រង់តាមច្បាប់ខោយចំនួនអតិបរិមាណនៃការផ្តល់នាខែមេសា ឆ្នាំ២០២១ ត្រូវបានបង្កើនពី៣៦ខែ(៣ឆ្នាំ)ដល់៦០ខែ(៥ឆ្នាំ)។

តាមរយៈការធ្វើកំណែទម្រង់នេះ ខែចុងក្រោយនៃរយៈពេលទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍សុខុមាលភាពគឺត្រូវនឹងក្រោយខែមេសា ឆ្នាំ២០២១។ ចំពោះអ្នកស្ថិតក្នុងរយៈពេលទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍សុខុមាលភាពនៅមុខខែមីនា ឆ្នាំ២០២១ នឹងអនុវត្តការគណនាជាអតិបរិមាណ៣៦ខែ(៣ឆ្នាំ)ដូចអ្វីដែលធ្លាប់មាននាពេលកន្លងមក។

○ប្រសិនបើខែចុងក្រោយស្ថិតក្រោយខែមីនា ឆ្នាំ២០២១ សម្រេចថាចំនួនអតិបរិមាណនៃការផ្តល់គឺត្រឹម៣៦ខែ(៣ឆ្នាំ)



○ប្រសិនបើខែចុងក្រោយស្ថិតក្រោយខែមេសា ឆ្នាំ២០២១ សម្រេចថាចំនួនអតិបរិមាណនៃការផ្តល់គឺត្រឹម៦០ខែ(៥ឆ្នាំ)



ការផ្តល់ប្រាក់សោធនពេលចាកចេញសម្រាប់អ្នកទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍សុខុមាលភាព

<*អត្រាផ្តល់>

◎ ករណីខែចុងក្រោយស្ថិតក្រោយខែមេសា ឆ្នាំ២០២១

| រយៈពេលស្ថិតជាអ្នកទទួលបាននាវាបំរុងសុខុមាលភាព | តួរលេខត្រូវគណនានឹងអត្រាផ្តល់ | អត្រាផ្តល់ |
|---|------------------------------|------------|
| លើសពី៦ខែតែក្រោម១២ខែ | 6 | 0.5 |
| លើសពី១២ខែតែក្រោម១៨ខែ | 12 | 1.1 |
| លើសពី១៨ខែតែក្រោម២៤ខែ | 18 | 1.6 |
| លើសពី២៤ខែតែក្រោម៣០ខែ | 24 | 2.2 |
| លើសពី៣០ខែតែក្រោម៣៦ខែ | 30 | 2.7 |
| លើសពី៣៦ខែតែក្រោម៤២ខែ | 36 | 3.3 |
| លើសពី៤២ខែតែក្រោម៤៨ខែ | 42 | 3.8 |
| លើសពី៤៨ខែតែក្រោម៥៤ខែ | 48 | 4.4 |
| លើសពី៥៤ខែតែក្រោម៦០ខែ | 54 | 4.9 |
| លើសពី៦០ខែ | 60 | 5.5 |

◎ ករណីខែចុងក្រោយស្ថិតនៅចន្លោះខែកញ្ញា ឆ្នាំ២០១៧~ខែមីនា ឆ្នាំ២០២១

| រយៈពេលស្ថិតជាអ្នកទទួលបាននាវាបំរុងសុខុមាលភាព | តួរលេខត្រូវគណនានឹងអត្រាផ្តល់ | អត្រាផ្តល់ |
|---|------------------------------|------------|
| លើសពី៦ខែតែក្រោម១២ខែ | 6 | 0.5 |
| លើសពី១២ខែតែក្រោម១៨ខែ | 12 | 1.1 |
| លើសពី១៨ខែតែក្រោម២៤ខែ | 18 | 1.6 |
| លើសពី២៤ខែតែក្រោម៣០ខែ | 24 | 2.2 |
| លើសពី៣០ខែតែក្រោម៣៦ខែ | 30 | 2.7 |
| លើសពី៣៦ខែ | 36 | 3.3 |

<*ចំនួនប្រាក់បៀវត្សស្តង់ដារជាមធ្យម>**

ចំនួនប្រាក់បៀវត្សស្តង់ដារប្រចាំខែនីមួយៗនិងចំនួនសរុបនៃទឹកប្រាក់ឧបត្ថម្ភស្តង់ដាររបស់អ្នកស្ថិតក្នុងអំឡុងពេលទទួលបាននាវាបំរុង

$$\text{ចំនួនប្រាក់បៀវត្សស្តង់ដារជាមធ្យម} = \frac{\text{ចំនួនខែទាំងអស់នៃអ្នកស្ថិតក្នុងអំឡុងពេលទទួលបាននាវាបំរុង}}{\text{ចំនួនប្រាក់បៀវត្សស្តង់ដារសរុបនៃទឹកប្រាក់ឧបត្ថម្ភស្តង់ដាររបស់អ្នកស្ថិតក្នុងអំឡុងពេលទទួលបាននាវាបំរុង}}$$

◇ រយៈពេលទទួលបាននាវាបំរុងសោធននិវត្តន៍សុខុមាលភាពទាំងអស់ ឬមួយចំនួនសម្រាប់អ្នកស្ថិតនៅមុនខែមីនា ឆ្នាំ២០០៣

ចំនួនប្រាក់បៀវត្សស្តង់ដារប្រចាំខែនីមួយៗនៃអំឡុងពេលទទួលបាននាវាបំរុងមុនខែមីនាឆ្នាំ២០០៣ × 1.3 + ចំនួនទឹកប្រាក់សរុបនៃប្រាក់បៀវត្សស្តង់ដារប្រចាំខែនីមួយៗនិងប្រាក់ឧបត្ថម្ភស្តង់ដាររបស់អ្នកស្ថិតក្នុងអំឡុងពេលទទួលបាននាវាបំរុងក្រោយខែមេសា ឆ្នាំ២០០៣

$$\text{ចំនួនប្រាក់បៀវត្សស្តង់ដារជាមធ្យម} = \frac{\text{ចំនួនប្រាក់បៀវត្សស្តង់ដារសរុបនៃទឹកប្រាក់ឧបត្ថម្ភស្តង់ដាររបស់អ្នកស្ថិតក្នុងអំឡុងពេលទទួលបាននាវាបំរុង}}{\text{ចំនួនខែទាំងអស់នៃអ្នកស្ថិតក្នុងអំឡុងពេលទទួលបាននាវាបំរុង}}$$

<*អត្រាបាននាវាបំរុង>**

ករណីខែចុងក្រោយស្ថិតក្នុងខែមករា-ខែសីហា គេនឹងយកអត្រាផ្តល់បាននាវាបំរុងអំឡុងខែគុណនា២ឆ្នាំមុន។
 ករណីខែចុងក្រោយស្ថិតក្នុងខែកញ្ញា-ខែធ្នូ គេនឹងយកអត្រាផ្តល់បាននាវាបំរុងអំឡុងខែគុណនា២ឆ្នាំមុន។

រូបិយប័ណ្ណសម្រាប់ធ្វើប្រាក់សោធនពេលចាកចេញពីប្រទេសជប៉ុនទៅកាន់បរទេសមានដូចខាងក្រោម៖

脱退一時金を日本国外へ送金する際に使用する通貨は次のとおりです。

| | | | |
|---|-------------|----------------------|-----------------------|
| អូស្ត្រាលី | オーストラリア | ដុល្លារអូស្ត្រាលី | អូស្ត្រាលី•ដុល្លារ |
| អូស្ត្រីស | オーストリア | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| បែលហ្ស៊ិក | ベルギー | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| កាណាដា | カナダ | ដុល្លារកាណាដា | កាណាដា•ដុល្លារ |
| គុយបា | キューバ | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ស៊ីប | キプロス | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ខាណឺម៉ាក | デンマーク | ក្រុនខាណឺម៉ាក | ដេនម៉ាក•ក្រូន |
| អេស្តូនី | エストニア | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ហ្វាំងឡង់ | フィンランド | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| បារាំង | フランス | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| អាល្លឺម៉ង់ | ドイツ | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ក្រិក | ギリシャ | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| អ៊ីរ៉ង់ | イラン | យេន * | យ៉ាប៉ុន |
| អ៊ែរឡង់ | アイルランド | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| អ៊ីតាលី | イタリア | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ឡេតូនី | ラトビア | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| លីទុយអានី | リトアニア | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| លុចសំបួរ | ルクセンブルク | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ម៉ាល់តា | マルタ | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ម៉ូណាកូ | モナコ公国 | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| មីយ៉ាន់ម៉ា | ミャンマー | យេន ** | យ៉ាប៉ុន |
| ហុឡង់ | オランダ | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| នូវីលេហ្សឺឡង់ | ニュージーランド | ដុល្លារនូវីលេហ្សឺឡង់ | នូវីលេហ្សឺឡង់•ដុល្លារ |
| សាធារណរដ្ឋប្រជាមានិតប្រជា ទឹកដីកូរ៉េ | 朝鮮民主主義人民共和国 | យេន * | យ៉ាប៉ុន |
| នរវេស | ノルウェー | ក្រុននរវេស | នរវេស•ក្រូន |
| ព័រទុយហ្គាល | ポルトガル | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ប្រទេសរុស្ស៊ី | ロシア | យ៉ូរ៉ូ *** | យ៉ូរ៉ូ |
| សិង្ហបុរី | シンガポール | ដុល្លារសិង្ហបុរី | សិង្ហបុរី•ដុល្លារ |
| ស្លូវ៉ាគី | スロバキア | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ស្លូវេនី | スロベニア | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| អេស្ប៉ាញ | スペイン | យ៉ូរ៉ូ | យ៉ូរ៉ូ |
| ស៊ីឌង់ | スーダン | ផោនអង់គ្លេស | អង់គ្លេស•បោន |
| ស៊ុយអែត | スウェーデン | ក្រុនស៊ុយអែត | ស៊ុយអែត•ក្រូន |
| ស្វីស | スイス | ហ្វ្រង់ស្វីស | ស្វីស•ហ្វ្រង់ |
| អង់គ្លេស | イギリス | ផោនអង់គ្លេស | អង់គ្លេស•បោន |
| ប្រទេសផ្សេងៗ | 上記以外の国 | ដុល្លារអាមេរិក | អាមេរិក•ដុល្លារ |

* 日本金融機関でのみお受け取りいただけます。
 ** 送金可能な銀行は以下の1行です。(2023.9 現在)
 Co-operative Bank Ltd.
 *** 2023年11月の支払から、ロシアへの送金通貨はドルからユーロへ変更となります。

ឯកសារស្នើសុំការដកប្រាក់សោធននិវត្តន៍ពេលចាកចេញ
(សោធននិវត្តន៍ជាតិ/ធានារ៉ាប់រងសោធននិវត្តន៍សុខុមាលភាព)
脱退一時金請求書(国民年金/厚生年金保険)

(ការច្បាប់គ្នាគ្នាប្រាក់សោធននិវត្តន៍ជប៉ុនបំពេញ)
 受付番号 (日本年金機構記入欄)

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

※សម្រាប់ពេញនាមអក្សរធំខ្មែរត្រឹមត្រូវ។ សម្រាប់ពេញនាមខ្មែរត្រឹមត្រូវប្រើប្រាស់ប្រព័ន្ធគ្រប់គ្រង។
 ※記入はアルファベットの大文字でお願いします。太わく内のみ記入してください。

*ក្នុងករណីណាក៏ដោយ បុគ្គលដែលបានទទួលការដកប្រាក់មួយដំនឹងប្រាក់បង់រយៈពេលនៃការធានារ៉ាប់រងសោធននិវត្តន៍របស់ជប៉ុនទាំងអស់ នៃមុនពេលទាមទារការទូទាត់ដកប្រាក់មួយដំ។ ប្រសិនបើរយៈពេលនៃការទទួលបានសិទ្ធិរបស់អ្នកគឺតិចជាង 120 ខែ (10 ឆ្នាំ) សូមអានដោយប្រុងប្រយ័ត្ននូវការប្រុងប្រយ័ត្ននៅទំព័រទី 2 នៃទម្រង់បែបបទទាមទារការដកប្រាក់មួយដំ ហើយពិចារណាពីលទ្ធភាពនៃការទទួលបានប្រាក់សោធននិវត្តន៍នៅពេលអនាគត មុនពេលដាក់ពាក្យសុំការទូទាត់ការដកប្រាក់ ប្រសិនបើអ្នកចង់ទទួលបានសូមប្រាក់ដកចេញចុះហត្ថលេខាលើប្រអប់លេខ [2] ។ ប្រសិនបើអ្នកត្រូវបានធានារ៉ាប់រងអស់រយៈពេលជាយូរមកហើយ ហើយមិនបានចុះហត្ថលេខាលើប្រអប់លេខ [2] ទេ យើងអាចប្រគល់ឯកសាររបស់អ្នកវិញ ដើម្បីបញ្ជាក់ពីបំណងរបស់អ្នកក្នុងការទាមទារម្តងទៀត។

※脱退一時金を受け取った方は、いかなる場合でも脱退一時金を請求する以前の日本の年金に加入していた期間がすべてなくなります。受給資格期間が 120 月 (10 年) 未満の方は、脱退一時金請求書の 2 ページ目の注意事項をよくご覧いただき、将来、年金を受け取る可能性を考慮したうえで、なお脱退一時金の受給を希望される場合、必ず「2」欄に署名をしてください。被保険者期間が長期にわたる方で「2」欄に署名がなされていない場合、請求の意思の確認のため書類をお返しする場合があります。

1. កាលបរិច្ឆេទ ឆ្នាំ ខែ ថ្ងៃ
 年 月 日

3. មានប្តីមានការអនុញ្ញាតស្នាក់នៅអចិន្ត្រៃយ៍ (ថ្ងៃអនុញ្ញាត) 永住許可の有無 (許可日)
 គ្មាន / មាន (កាលបរិច្ឆេទ:)

2. ខ្ញុំមានសិទ្ធិទទួលបានអត្ថប្រយោជន៍ក្នុងរយៈពេលតិចជាង 120 ខែ (10 ឆ្នាំ)
 ទោះបីជាខ្ញុំមិនបញ្ចូលរយៈពេលដែលគ្រប់គ្រងដោយប្រព័ន្ធសោធននិវត្តន៍នៃប្រទេសដែលមានកិច្ចព្រមព្រៀងជាមួយប្រទេសជប៉ុនស្តីពីប្រាក់សោធននិវត្តន៍សរុប និងរយៈពេលដែលត្រូវដាក់បញ្ចូល។ ខ្ញុំកំពុងស្នើសុំនេះដោយការយល់ដឹងថា តាមរយៈការទទួលបានការទូទាត់នោះ ខ្ញុំនឹងអាចលុបចោលរយៈពេលទាំងអស់ដែលខ្ញុំបានចុះឈ្មោះចូលនៅក្នុងប្រាក់សោធននិវត្តន៍របស់ជប៉ុននៃមុនពេលធ្វើការស្នើសុំ។

私は日本と年金通算の協定を締結している相手国の年金制度に加入していた期間や合算対象期間を含めても受給資格期間が 120 月 (10 年) 未満であり、脱退一時金の支給を受けることで、請求する以前の日本の年金に加入していた期間がすべてなくなることを理解した上で請求します。

ហត្ថលេខាអ្នកស្នើសុំ (សញ្ញា) 請求者本人の署名 (サイン)

4. ឈ្មោះអ្នកស្នើសុំ ថ្ងៃខែឆ្នាំកំណើត និងអាសយដ្ឋានប្រកាសចាកចេញពីប្រទេសជប៉ុន (請求者氏名、生年月日及び離日後の住所)

| | | | | | | | | | | | |
|---|--------|--|--|--|-------|--|--|----|--|------|---------|
| នាមត្រកូលនិងនាមខ្លួន 氏名 | | | | | | | | | | | |
| ថ្ងៃខែឆ្នាំកំណើត 生年月日 | | | | | ឆ្នាំ | | | ខែ | | ថ្ងៃ | សញ្ជាតិ |
| | | | | | 年 | | | 月 | | 日 | 国籍 |
| អាសយដ្ឋានប្រកាសចាកចេញពីប្រទេសជប៉ុន 離日後の住所 | | | | | | | | | | | |
| | ប្រទេស | | | | | | | | | | |
| | 国 | | | | | | | | | | |

5. គណនីសម្រាប់ប្រាក់សោធននិវត្តន៍ពេលចាកចេញ (脱退一時金振込先口座)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------------------|---|-------|--|--|--|--|-------|--|--|--------------------------|--|------|---|
| ការច្បាប់គ្នាគ្នាប្រាក់សោធននិវត្តន៍ជប៉ុនបំពេញ 日本年金機構記入欄 | 1 | 3 | 銀行コード | | | | | 支店コード | | | | | 預金種別 | 1 |
| ឈ្មោះធនាគារ 銀行名 | | | | | | | | | | | | | | |
| ឈ្មោះសាខា 支店名 | | | | | | | | | | | | | | |
| អាសយដ្ឋានសាខា 支店の所在地 | | | | | | | | | | | ប្រទេស | | | |
| | | | | | | | | | | | 国 | | | |
| លេខគណនី 口座番号 | | | | | | | | | | | ការច្បាប់បញ្ជាក់ពីធនាគារ | | | |
| | | | | | | | | | | | 銀行の証明欄 | | | |
| ឈ្មោះគណនីរបស់អ្នកទាមទារ 請求者本人の口座名義 | カタカナ (日本国内の金融機関を指定した際のみ記載) | | | | | | | | | | | | | |

6. ព័ត៌មានស្តីពីលិខិតជូនដំណឹងអំពីលេខសោធននិវត្តន៍មូលដ្ឋាន ឬសៀវភៅសោធននិវត្តន៍។ល។ (基礎年金番号通知書または年金手帳等の記載事項)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| លេខសោធននិវត្តន៍មូលដ្ឋាន 基礎年金番号 | | | | | | | | | | | | | | | |
| លេខសម្គាល់របបនីមួយៗ 各制度の記号番号 | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|---|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (សម្រាប់គ្នាគ្នាប្រាក់សោធននិវត្តន៍ជប៉ុនបំពេញ) (日本年金機構 記入欄) | 日本年金機構 決定印 | | 日本年金機構 受付印 | |
| 加入制度 | チェック 1 | チェック 2 | チェック 3 | チェック 4 |
| 厚年 船員 国年 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 国共 地共 私学 | (送金先国) (課税△/非 0) (本人請求△/他 2) (日独非対象者△/対象者 0) | | | |

(入力回付年月日)

ចំណុចប្រុងប្រយ័ត្នពេលបំពេញ

សូមបំពេញចំណុចទី១-៦នៅក្នុងឯកសារស្នើសុំជាដាច់ខាត។

ករណីមិនបានបំពេញគ្រប់គ្រាន់ ឯកសារស្នើសុំរបស់អ្នកអាចនឹងត្រូវបានបញ្ជូនត្រឡប់ទៅវិញ។

- ① សូមបំពេញ «4. ឈ្មោះអ្នកស្នើសុំ ថ្ងៃខែឆ្នាំកំណើត និងអាសយដ្ឋាន» និង «5. គណនីធនាគារសម្រាប់ធ្វើប្រាក់សោធននិវត្តន៍ពេលចាកចេញ»ជាអក្សរធំឡាក់ដាច់ កុំឱ្យមានចន្លោះឱ្យសោះ។
- ② នៅកូឡោនលេខសោធននិវត្តន៍មូលដ្ឋាននៃ «6. ព័ត៌មានស្តីពីលិខិតជូនដំណឹងអំពីលេខសោធននិវត្តន៍មូលដ្ឋាន ឬសៀវភៅសោធននិវត្តន៍។ល។» សូមបំពេញលេខសោធននិវត្តន៍មូលដ្ឋានដែលមាននៅក្នុងលិខិតជូនដំណឹងអំពីលេខសោធននិវត្តន៍មូលដ្ឋាន ឬសៀវភៅសោធននិវត្តន៍។ល។ ហើយនៅកូឡោនលេខសម្គាល់របបនានា សូមបំពេញលេខសម្គាល់សៀវភៅសោធននិវត្តន៍នៃរបបប្រាក់សោធននិវត្តន៍ដែលអ្នកធ្លាប់បានចូលកន្លងមក។
- ③ សូមកុំបំពេញនៅ«ការឡោនបំពេញសម្រាប់អង្គការសោធននិវត្តន៍ជប៉ុន»។
- ④ «លេខសោធននិវត្តន៍មូលដ្ឋាននៃសៀវភៅសោធននិវត្តន៍ និងលេខសម្គាល់សៀវភៅសោធននិវត្តន៍» និងត្រូវប្រើប្រាស់នៅពេលអ្នករៀបរយផ្នែកផ្ទៃក្រោយដូច្នោះដាច់ខាតត្រូវរក្សាលេខនោះទុកនៅពេលដាក់ឯកសារស្នើសុំ។
- ⑤ ករណីដែលអ្នកមិនដឹងលេខសោធននិវត្តន៍មូលដ្ឋាន សូមបំពេញការឡោនប្រវត្តន៍នៅទំព័រទី 16 ។

記入上の注意

請求書の1~6については必ず記入してください。

記入のない場合は請求書をお返す場合があります。

- ① 「4.請求者氏名、生年月日及び住所」及び「5.脱退一時金振込先口座」は、アルファベット大文字で記入漏れのないようお願いします。
- ② 「6.基礎年金番号通知書または年金手帳等の記載事項」の基礎年金番号欄には基礎年金番号通知書または年金手帳等に記載されている基礎年金番号、各制度の記号番号欄には今まで加入したことのある年金制度の年金手帳の記号番号を転記してください。
- ③ 「日本年金機構記入欄」は、記入しないでください。
- ④ 「基礎年金番号及び年金手帳の記号番号」は、後日あなたが照会するときには使用しますので、請求書を提出するときは必ず番号を控えておいてください。
- ⑤ 基礎年金番号がわからない場合は、16ページの履歴欄を記入してください。

(នៃខែមីនា ឆ្នាំ 2024)

សូមកាត់អាសយដ្ឋាននេះបិតលើស្រោមសំបុត្រពេលផ្ញើឯកសារស្នើសុំ។

切り取って請求書送付時の封筒に貼って使用してください。

(ករណីផ្ញើនៅក្នុងប្រទេសជប៉ុនក៏ប្រើអាសយដ្ឋាននេះដែរ។)

(日本国内から送付する場合も送付先は同じです。)

AIR MAIL

Japan Pension Service (Foreign Business Group)
3-5-24, Takaido-nishi, Suginami-Ku,
Tokyo 168-8505 JAPAN

〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号
日本年金機構 (外国業務グループ)

TEL. +81 - 3 - 6700 - 1165
(The telephone service is in Japanese.)